

世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

# わたしたちの地球と未来

 ニュージーランド 



### 【表紙の写真】

マオリの素敵なカップル(右上)

道路を横切る羊、羊、羊...。  
さすが、ニュージーランド (左下)

 矢野弘美

# Contents

01 こんな想いを込めました!

02 こんな教材です!

03 なぜニュージーランド?

## 第1章 ニュージーランドってどんな国?

= 青い空、白い雲、豊かな自然と多様性に富んだ国 =

05 クイズ100人に聞きました

07 「地球の箱庭」ニュージーランド

09 多様性に満ちた国 ニュージーランド!  
~ 自然、景観、文化、スポーツ、人々、動植物 ~

11 これがNZ! これもNZ! NZトリビア15選

13 ニュージーランドの食べものフォトギャラリー

## 第2章 へえ~! ニュージーランドと日本

15 比べてみよう! 日本の教育・NZの教育!

17 日本の食卓から世界が見える!?  
~ 世界一の食料輸入国日本! ~

19 参考資料 日本の自給率 世界の自給率  
~ 食料の6割を輸入に頼る食料輸入大国日本! ~

## 第3章 一緒に考えよう! こんな課題

21 非核国家NZの「ヒロシマ・デー」  
~ 平和指数世界2位の国NZ ~

23 参考資料 アオテアロアの最初の移住者「マオリ」と  
一国二文化の国ニュージーランド

24 フォトギャラリー

25 「ニュージーランドってこんな国」ふりかえりシート

## 第4章 そして未来へ

27 『多文化共生社会』ってどんな社会?

28 号外! 号外! 20年後の新聞です

29 多文化共生社会と地球的課題

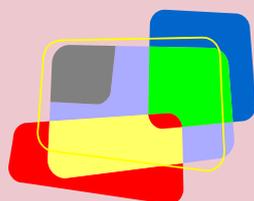
## 参考資料

31 目で見るニュージーランド

33 ニュージーランド地図

35 参考文献・データ等の出典

35 2008年度教材作成チーム



# こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！  
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



## 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

## 人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

## 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

## 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



# こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

## ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

## 参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

## きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ニュージーランドのほんの一面です。本書だけでニュージーランドのすべてがわかるわけではありません。ニュージーランドに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

## 使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

## カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

## 本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



	参加型のプログラムです。必要に応じてコピーし、配布してください。		プログラムで模造紙を使います。
	プログラムに関する説明です。ファシリテーター・先生用です。		プログラムでマジックを使います。
	プログラムのねらいです。		プログラムで付箋を使います。
	ちょっとブレイク一口コラムです。		プログラムでA4用紙を使います。裏紙等を活用してください。
	プログラムに使う資料です。必要に応じてコピーし配布してください。		データ等の出典です。
	コピーし、カード等に切り離して使ってください。		写真の撮影者です。

# なぜニュージーランド？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、ニュージーランドのホームシティは、一宮市でした。



イタリア共和国  
オランダ王国  
ベルギー王国  
フランス共和国  
ポルトガル共和国  
モロッコ王国  
社会主義リビアアラブ国  
セネガル共和国  
ベナン共和国  
カメルーン共和国  
ガボン共和国  
南アフリカ共和国  
チャド共和国  
ウズベキスタン共和国  
ボスニア・ヘルツェゴビナ  
キルギス共和国  
モンゴル国  
大韓民国  
バキスタン・イスラム共和国  
ラオス人民民主共和国  
カンボジア王国  
アゼルバイジャン共和国  
イラン・イスラム共和国  
サウジアラビア王国  
エジプト・アラブ共和国  
ケニア共和国  
ニュージーランド  
ドミニカ共和国  
エルサルバドル共和国  
パナマ共和国  
ボリビア共和国

：本教材  
：2008年度教材作成の国  
：2007年度教材作成の国  
：愛知万博公式参加国

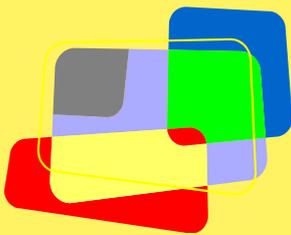
愛知万博 / ニュージーランド館



## 第1章

# ニュージーランドってどんな国？

= 青い空、白い雲、豊かな自然と  
多様性に富んだ国 =



# クイズ100人に聞きました

① ところで、みなさんはニュージーランドのこと、どのくらい知っていますか？

① 下の地図でニュージーランドはどこでしょう？ この辺だと思ふところに印をつけよう。



② ニュージーランドと言えば何？  
人、物、イメージなど、何でもいいので思いつくものをできるだけたくさん挙げてみよう！

③ ニュージーランドで知っている都市はある？

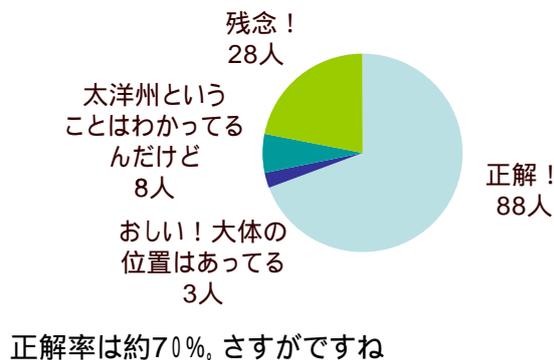


同じ質問を一宮市の中学生127名に聞いた結果は次のとおりです。



まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

## ニュージーランドはどこ？



## ニュージーランドのイメージは？

羊(49) / マオリ族(16) / キウイ(13) / ラム肉(12) / 白い人(9) / コアラ(8) / カンガルー(7) / キーウイ(鳥)(5) / あたたかい(3) / 涼しい(3) / 自然が豊か(3) / 島(3) / 面積が小さい(3) / 温泉(3) / 暑い(2) / メープルシロップ(2) / ジングスカン(2) / 肌が黒い(2) / アボリジニ(2) / 外人がたくさんいる(2) / 緑が多そう(2) / 青い海(2) / インディアン(2) / 形が日本に似ている島国(2) / 人魚(2) / オーストラリアの近く(2) / 夏のサンタクロース(2) / 日本と季節が逆 / 料理がおいしそう / タロイモ / クリームチーズとスモークサーモンのベーグル / ビーフジャーキー / 動物がいる / 有袋類 / フクロオオカミ / フクロリス / 日本人もいる / たくさんの民族 / いろいろな国の人がいる / 住んでいる人があまりいなさそう / ユーカリの葉 / ビーチ / 緑と青のイメージ / のほほん / 和やか / サングラス / 隣の家まで1時間 / 英国の植民地 / マオリパフォーマンス など

## ニュージーランドで知っている都市はある？

みんなが知っている都市は、ウェリントン(2)、オークランド(2)でした。  
国名は知っていても、都市名は難しいですね。



オークランド



# 「地球の箱庭」ニュージーランド

❓ 青い空と白い雲。大自然と美しいまち。ニュージーランド・フォトギャラリー。

火山と温泉、アルプスと氷河、原生林、フィヨルド、シダの森、ツチ螢の洞窟、川釣り、海釣り、ビーチリゾート、広大な牧草地、のどかな田園風景、大都市からイギリス的な田舎町まで...

「地球の箱庭」と言われるくらい、多様で美しいニュージーランドの大自然とまち。

一番気に入った写真にタイトルをつけてみよう！ 日本にもありそうな風景を探してみよう！

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ



ク



ケ



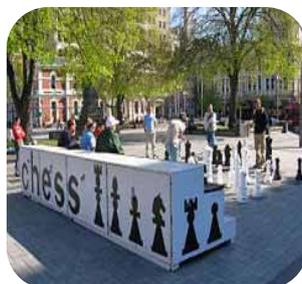
コ



サ



シ



ス



セ



ソ



タ



チ



ツ



テ



ト



ナ



ニ



ヌ



ネ



ノ



ハ



自分たちのまちの写真も撮ってみよう! まちの誇り、まちのいいところを集めて写真展を開こう!

# 多様性に満ちた国 ニューージーランド！

～ 自然、景観、文化、スポーツ、人々、動植物～



「多様性」=「いろんな種類があること」。それは、豊かさの一つのモノサシ。「多様性」という視点から日本を振り返ってみましょう。

- 1 ニューージーランドは自然をはじめとして、多様性に満ちた国であると言われます。「多様である」とは、いろいろな種類のものがたくさんあること。それは「豊さ」の一つの指標。ニューージーランドの多様性を見てみましょう。さて、日本はどうでしょう？

## 自然の多様性 ～活火山から氷河まで～

NZは南北に細長く、北に行くほど温暖。北島中央部は、国内最大の地熱地帯で温泉が有名。北島北部は、トロピカルな気候の海のリゾート地。南島中央部は、3000メートル級のサザンアルプスと呼ばれる山岳地帯が広がる。万年雪や氷河を見てまわるツアーが人気。南島の南西部は、降水量が多く、シダやブナに覆われた手つかずの原生林。西側の海外線は複雑に入り込んだフィヨルドを形成し、壮大な景色が広がるこの一帯は世界自然遺産となっている。

## 生物の多様性 ～ユニークな生態系～

NZが Gondwana 大陸から切り離されて島になった頃(約1億年前)、ここには哺乳類(こうもり以外)の存在しないユニークな生態系が形成された。天敵のいないNZは鳥類の楽園と化し、鳥たちの羽は退化してしまった。飛べない鳥キーウィは有名。時代を経た今、絶滅してしまった鳥も多いが、現存するキーウィやカカポ、タカヘ、ウエカ、フィヨルドランド・ペンギンなどのNZ固有種は、国によって保護されている。独特の生態系をとるために厳しい検疫システム敷かれているため、NZには蛇がいない！

## 文化の多様性～マルチ・カルチャリズム～

NZの先住民マオリの生活様式、文化伝統が尊重され、マオリ語は英語とともに公用語とされており、NZの人々は「一国二文化」という意識を持っている。NZの豊かなライフスタイルを求める移民の流入で、人口は増加を続け、「マルチカルチャリズム(=異なる人種や文化を認め合って共存する)」が定着しつつある。人口構成は、欧州系が8割、先住民マオリ系が1割強、アジア系とポリネシア系がそれぞれ5～6%。今や、国民の5人に1人が海外生まれ。

## 楽しみの多様性 ～海に山に川に～

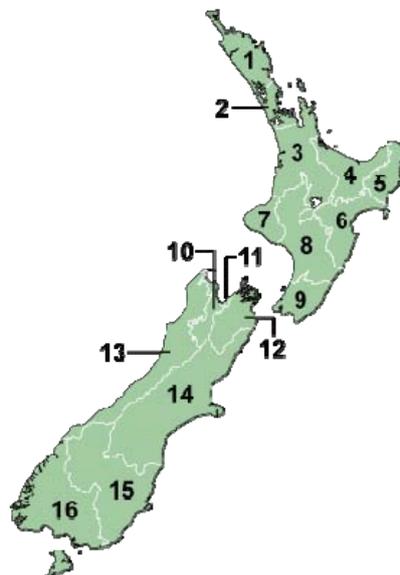
豊かな自然に囲まれて育ったNZ人は、根からの自然派。個人の時間や空間を大事にし、そのゆとりが、豊かな発想を生み出す。自然を利用したアウトドア遊びを考案するのが得意。ラグビーを始め、クリケット、サッカー、ヨット、ボート、ラフティング、サーフィン、釣り、トライアスロン、ゴルフ、ネットボール、タッチボール、フットボール、テニス、スキー、スケート、カヌー、キャンピング、トレッキング、バンジー、ゾーピング、スカイワイヤー... これらはみ～んな、NZで楽しめるレジャー。

- 2 P.7・8のフォトギャラリーの解説(P.10)を読んでみましょう。行ってみたい場所はありますか？

ニューージーランドは、北島に9つ、南島に7つ、合計16の地方に分かれています。

### 北島

- 1 ノースランド
- 2 オークランド
- 3 ワイカト
- 4 ベイ・オブ・プレンティ
- 5 ギズボーン
- 6 ホークスベイ
- 7 タラナキ
- 8 マナワツ・ワンガヌイ
- 9 ウェリントン



### 南島

- 10 タスマン
- 11 ネルソン
- 12 マールボロ
- 13 ウェストコースト
- 14 カンタベリー
- 15 オタゴ
- 16 サウスランド

<p><b>ア. アベル・タスマン国立公園</b>(11:左ページの地図の位置。以下同じ) 金色に輝く砂浜、原生林と野生動物の宝庫。ニュージーランドで一番小さい国立公園。</p>	<p><b>イ. オカリト・ラグーン</b>(13) 浅瀬の湿地帯と干潟が広がるNZ最大の河口干潟。周囲は密な森林に囲まれ、水鳥たちの楽園。</p>
<p><b>ウ. ファンガヌイ国立公園</b>(8) ファンガヌイ川上流と中流地域に広がる。公園のほぼ全体が原生の低地林で覆われている。</p>	<p><b>エ. アベル・タスマン国立公園</b>(11) 原生林に覆われている海岸沿いの御影石と大理石からなる岩群は一見の価値あり。</p>
<p><b>オ. テ・マタ・ピーク</b>(6) ワインの名産地ヘレタウンガ平野の西に位置する。テ・マタ・ピークからの大パノラマは圧巻。</p>	<p><b>カ. アロータウン</b>(15) NZで最も美しい開拓地のひとつ。19世紀の建造物が多数修復され、趣のある歴史的景観。</p>
<p><b>キ. NZ原生林 カウリの森</b>(1) NZを代表する植物のひとつ「カウリ」(ナンヨウスギ科の巨木)。樹齢千年のものも少なくない。</p>	<p><b>ク. アワロア・ベイ アベル・タスマン国立公園</b>(10) アベル・タスマン国立公園を縁どる海岸線に位置する穏やかな湾。</p>
<p><b>ケ. カセドラル・コーブ</b>(2) コロマンデル島のコバルトブルーの海と桜貝でピンクに染まるビーチ。ナルニア国物語のロケ地。</p>	<p><b>コ. クライストチャーチ ハグレ公園の桜</b>(14) 東京ド・ム38個分の大きな公園。スポ・ツ施設やエイボン川を挟む広大な植物園がある。</p>
<p><b>サ. ケーブルカーからのウェリントンのパノラマ</b>(9) NZの首都。同国2番目の都市圏で、オセアニアの首都の中では最も人口が多い。</p>	<p><b>シ. クライストチャーチスクエアの路面チェス</b>(14) 南島最大の町クライストチャーチの中心部であるカセドラルスクエア(大聖堂前の広場)。</p>
<p><b>ス. ダニーデンの90マイル・ビーチ</b>(1) ノースランドの西側(タスマン海)に、北に向かって細長く90マイルほど延々続く砂浜。</p>	<p><b>セ. カフランギ国立公園の原生林</b>(13) 45万1000ヘクタールを誇るこの公園には、570km以上ものウォーキングトラック。</p>
<p><b>ソ. プナカイキのパンケーキ・ロック</b>(13) 海中の沈殿層が数千年の時間をかけ堆積と圧縮を繰り返した結果、巨大パンケーキの様な層に。</p>	<p><b>タ. フォックス氷河</b>(13) 全長13km。サザンアルプスの標高2600メートル地点から急激な斜度で流れ落ちる巨大氷河。</p>
<p><b>チ. タラナキ山</b>(7) タラナキ山がそびえるエグモント国立公園は、アウトドア・アドベンチャーの宝庫。</p>	<p><b>ツ. プナカイキのブローホール(洞窟穴)</b>(13) 岩の深部に、雨水の浸食作用で形成された垂直の狭い穴があり、間欠泉のように海水を噴出。</p>
<p><b>テ. マウント・アスパイアリング国立公園</b>(15) アスパイアリング山にちなんで名付けられた国立公園。山、氷河、渓谷、川の幻想的な世界。</p>	<p><b>ト. 旧州政府庁舎とエイボン川</b>(14) 南島最大の都市クライストチャーチには、洗練されたライフスタイルと魅力的な歴史的建造物。</p>
<p><b>ナ. ワイボウア森林保護区「タネ・マフタ」</b>(1) NZ現存の最も有名で最も古い「カウリ」の巨木。「タネ・マフタ」とはマオリ語で「森の神」。</p>	<p><b>ニ. ミルフォード・サウンド</b>(16) NZ最大のフィヨルドランド国立公園。海面から直接そそり立つ山や滝などは圧巻。</p>
<p><b>ヌ. マウント・アスパイアリング国立公園の渓谷</b>(15) 壮大な山々、氷河が創造した深い渓谷、シダとブナの原生林、断崖から流れ落ちる豪快な滝。</p>	<p><b>ネ. マウントマウンガヌイビーチ</b>(4) 真っ白な砂浜が続くビーチ。マリンスポーツのメッカ。</p>
<p><b>ノ. モナ・ベイルとエイボン川</b>(14) 「ガーデン・シティー」クライスト。チャーチの緑豊かなビクトリア調の豪邸「モナ・ベイル」。</p>	<p><b>ハ. ワカティブ湖とリマーカブル山脈</b>(15) マオリの言葉で「怪獣の住みか」を意味する美しいワカティブ湖。数分ごとに水位が変わる。</p>

# これがNZ！これもNZ！NZトリビア15選！

① あなたのNZのイメージは？多様な視点からニュージーランドという国の特徴をつかもう！

① NZは青い空に白い雲、そして紫外線の強さで有名。NZの紫外線は平均して日本の何倍？

- 2倍
- 5倍
- 8倍



② NZには「タウマタファカタンギハンガコアウアウオタマテアポカイフェヌアキタナタフ」という世界一長い地名がある。これは川の名前である。ウソ？ ホント？



③ NZの国鳥はキーウイ。NZには果物のキーウイを使った「キウイバーガー」がある。キウイは何の代わり？

- ハンバーガー
- ピクルス
- レタス



④ NZは人口あたりのアイスクリーム消費量が世界一で、はちみつの消費量は世界第2位である。ウソ？ ホント？



⑤ NZでは、大抵のスーパーで売っている「ふるさとの味」の缶詰がある。それは「羊肉のステーキ缶詰」である。ウソ？ ホント？



⑥ NZで売られている食肉は、ウシ、ラム、ブタ、トリでは、どの順番で値段が高くなるか？



⑦ NZの教育制度は、初等教育が1-6年生。中等教育が7-8年生。高校に当たるのが9-13年生。義務教育は中等教育(8年生)まで。ウソ？ ホント？



⑧ NZでは、夕食のことをディナーと呼ぶ。昼食がご馳走の時は、それもディナーと呼ぶ。ウソ？ ホント？



⑨ マオリの伝統的な料理「ハンギ」は、土に掘った穴に、大きな葉で包んだ具材を入れ、焼いた石と土をかぶせて蒸す料理。入れてはいけない具材は貝類。ウソ？ ホント？



⑩ NZの国土は日本の4分の3。人口は日本の30分の1。NZでは人間よりも羊の数の方が圧倒的に多い。NZには、人間の5倍の数の羊がいる。ウソ？ ホント？



⑪ NZには一億年以上前から生存する爬虫類「トウアタラ」が生息する。寿命は大変長く、300年生きることもある。ウソ？ ホント？



⑫ 日本の夏休みと言えば、ほとんどの学校で「宿題」が出る。NZの夏休みの宿題は、「お手伝い」と「笑顔で過ごすこと」！ウソ？ ホント？



⑬ NZでの洗濯には「風車型物干し」が欠かせない。それは、雨がふっても洗濯物を取り込まず、濡れてもまた乾くまで置いておくため。ウソ？ ホント？



⑭ NZの豊かな生活を求めて移民としてやってくる人で、人口は増加中！今や3人に1人が海外生まれ。ウソ？ ホント？



⑮ NZの植物で象徴的なのは、シダ(ファーン)。山や森、街中にもシダが多い。ほとんどがNZ原産で、大小を合わせて50種近くの種類がある。ウソ？ ホント？





P.11のこたえと解説です。



多様なNZを知り、関心を持つ。NZの多様性や、日本との違いを楽しもう。

1 8倍です。  
NZは他の国々と比べても比較的大気汚染が少なく、極地に近いほどオゾン層が薄くなっていることもあり、紫外線は日本の6~8倍ともいわれています。日傘、日焼け止めクリームが必須。

2 **×ウツ** 世界一長い地名は、川の名前ではなく、丘の名前です。マオリ語で、意味は、「タマテアという名の、膝の大きな男がいて、山を滑ったり登ったり飲み込んだりしていたので、山食い男として知られていたが、そのタマテアが愛する人のためにフルートを演奏したところ」だそうです。



- ホークス・ベイにある「長い地名」の看板

3 2のピクルス

4 **×ウツ** アイスクリーム同様、はちみつの一人大当たりの年間消費量も、世界一です。

5 **×ウツ** スーパーで普通に手に入る「ふるさとの味」の缶詰は、ミートソース味の「スパゲティの缶詰」です。

6 羊が最も安価な食肉で、続いて、牛、豚、鶏の順番で値段が高くなります。さすが羊の国!

7 **×ウツ**

NZの義務教育は6歳~16歳までの11年間、  
初等教育はYear1~Year8までの8年間、  
中等教育はYear9~Year13までの5年間、  
義務教育期間終了(Year11修了)と同時に  
高校を辞める生徒も少なくありません。  
学期は4学期制で夏休み後の1月下旬~2月上旬(NZは南半球の為、季節が日本と逆)が新学期のスタートとなります。

年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日本				小学校				中学校			高校			大学			大学院		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	1	2
年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
ニュージーランド	Primary School						Secondary School						大学		大学院				

8 **ホント** 昼食でも夕食でも何でも、ご馳走はディナーと呼んでいます。

9 **×ウツ** 土に掘った大きな穴の中で作られる料理で、穴の中に熱い石を並べ、その上に肉や魚、野菜、最後に貝類という順番でのせていきます。すべての材料を入れたらキャベツの葉かフラックス(亜麻)で蓋をして、その上に土をかぶせます。

10 **×ウツ** 人間の10倍の羊がいます。

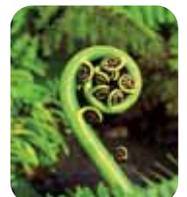
11 **ホント** 「トウアタラ」はイグアナに似た爬虫類で、NZ沖合の数島にのみ生息が確認されています。

12 **ホント** NZの子どもたちに、「夏休みといえば?」と聞いたら、「芝刈り」と「庭の水やり」と「バーベキュー」と「ビーチ!」という答えが返ってきます。

13 **ホント** NZでは、雨がふってもあわてて洗濯物を取り込んだりしません。

14 **×ウツ** NZ国民の内、外国で生まれた人は5人に1人です。

15 **×ウツ** NZ原産のシダは、大小を合わせて200種近くもあります。ラグビーの王者オールブラックスのロゴは、シルバー・ファーンという種類がモデルです。葉の裏側が白いのが特徴で、その昔、先住民マオリの人々は、暗い森を歩くときの道しるべとして使ったと言われます。NZ航空のマークも、シダがモデル。うず巻き型のデザインはシダの芽(マオリ語でコルー)で、生命の誕生や発展を意味します。





## ニュージーランドの食べものフォトギャラリー

移民の国であり、色々な文化が雑じり合っているNZ。  
先住民マオリの食文化と西洋の食文化がいきり混じり、美味しいシーフード料理も沢山!  
ニュージーランドイセエビ(クレーフイッシュ)、スナッパー(NZタイ)、マスル(NZムール貝)を  
使った料理や、フィッシュ&チップスなどは一般的。  
蜂蜜の一人当たりの年間消費量世界一の国なので、  
蜂蜜とハーブをふんだんに使うのも特徴。  
羊毛業の盛んな国なので、羊肉はよく食べます。  
鹿牧場も沢山あり、1年中鹿肉が手に入ります。



NZムール貝(奥) NZサーモン(手前)



NZビーフステーキ



NZイセエビ

フィッシュ&チップス



タラのムニエル



子羊のマスタード・ソース



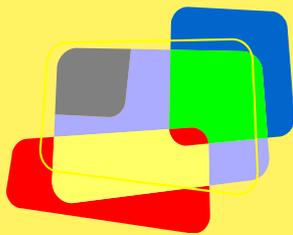
ホーキー・ポッキー  
アイスクリーム





## 第2章

# へえ～！ニュージーランドと日本



# 比べてみよう！日本の教育・NZの教育！



「考える」「伝える」「聞く」力を育て学びを深める「テーマ学習」という学び方を知ろう。  
また、NZと日本、それぞれの学校教育の特徴やよさを知り、理想の学校について考えてみよう。



1 ニュージーランドの教育の特徴を見てみましょう。あなたが「面白い」と思うものに印をつけてみましょう。



## システム

新学期は1月の末か2月からスタートし、小学校の入学式はありません。学校は4学期制で、学期と学期の間は、20日間ほどの休みがあります。授業は9時から3時まで。給食はなく、お弁当です。クッキーやポテトチップスなどを持参し、モーニングティー(午前のおやつタイム)の時間に食べます。1クラスは20名～30名の少人数学級です。学年毎のカリキュラムはありますが、時間割は固定されておらず、柔軟な時間割が組まれます。小学校では、教科書ではなくプリント教材を多く使います。一斉入学ではなく、満5歳の誕生日を迎えると次々入学してくるので、一クラスの学力の差がある分は、それをレベル別グループ学習で補う工夫をしています。



## 学習

小学校の低学年では、遊びの延長のようなかたちで、算数や文字を学習します。高学年になってくると、テーマに基づいて調べる宿題が増えます。読み書きにはかなり力を入れ、それがNZの子どもの読解力の能力の高さにつながっています。算数の時間には、電卓で計算をする子どももいます。計算が早く正確に出来ることよりも、数学的思考方が出来ることを重視した学習方針なので、電卓もオッケーです。大学に入るための資格試験にパスするには、日頃の成績も重要で、中学高校生年齢にしっかりと勉強しておく必要があります。



## 宿題

単語の書き取りや計算の宿題はNZでもありますが、高校生になると、1週間～2週間をかけて準備をする「レポート」の宿題と、そのプレゼンテーション(発表)の時間が増えます。提出するレポートの形式やまとめ方は完全に自由。各自が工夫を凝らします。NZの夏休みやその他の長期休暇には勉強の課題は出されません。長期休暇というのは、大人にとっても子どもにとっても、楽しむためにあるもの。そして、課題があると、子どもたちが休みを楽しめないからというのが理由です。



## 部活と先輩後輩

クラブ活動はたくさんあります。テニス、サッカー、オーケストラ、合唱から、タッチラグビー、クリケット、ネットボール(バスケットに似たスポーツ)、アカペラなどまで。運動部は日本と違い、「基礎体力をつけるのはクラブ(集団)ですることではない、個人でするもの」という考えから、筋トレなどは部活ではせず、最初から試合、試合、試合です。学校でも地域の活動でも、年上の子が年下の子たちの面倒を見る、ということがごく自然に日常的に行われています。地域の子どものたちの集まりやイベントでも、高校生が大人たちのアドバイスを受けて、子どもたちが飽きずに楽しく参加でき、内容に関心もてるように、自分たちで計画・準備・指導します。地域のイベントには、異年齢の若者が集まり、そこでのおしゃべりや遊びを通して、信頼関係や仲間意識を高めます。

- 2 ニュージーランドの「テーマ学習」って何? ちょっとのぞいてみましょうさあ! 授業の始まりです!  
 「テーマ学習」というくらいだから、この学習にはテーマがあります。今回のテーマは「パン」!  
 「パンの学習」? さて、どんなことを学習すると思いますか?  
 パンを焼く家庭科の授業? いえいえ、このテーマ学習は、何教科にも渡る、幅広い学習なのです。  
 では、パンを題材とした「テーマ学習」の流れを追ってみましょう。

まず、「パン」について書かれた本を読みます(読書/国語)。

そして自分の気づいたことを発表し、他の人の調べたことを聞き(発表・討論/国語)、自分のノートにまとめます(書き取り・まとめ/国語)。

それから自分の作ってみたいパンのデザインを考えて絵に描き(絵画・デザイン/芸術)、生地を成形し(工作/芸術)、パンを焼くのです(家庭科)。

また、ほかの国々ではどのようなパンが食べられているのかを調べたり(インターネット/社会)、パンを膨らませる役割を持つ「イースト」が、どのような環境で一番効果的に働くかを実験します(理科)。

みんなが持ち寄ったサンドイッチを一緒に食べながら、体に良いサンドイッチについて考えたりもします(健康/保健体育)。

どうです? 「パン」というテーマだけで、こんなに学習することができるのです。



### テーマ学習とは

一つのテーマについて、時間をかけてさまざまな角度から掘り下げていく学習のことです。この学習で大切なことは、自分の意見をまとめること、人の考えを聞くこと、さらに自分の意見を検討すること。これらの過程が、すべての学習段階で繰り返されることで、考える力、伝える力、聞く力が養われます。また、すべての学習段階での結果をノートにまとめているので、最終的には、テーマについてのいろいろな情報が満載の、自分だけのノートができあがります。

テーマは多様です。「宇宙」「バイキング」「マオリ(ニュージーランドの先住民)」「リサイクル」「自然保護」などなど。テーマは定期的に変わり、一つのテーマの継続期間は学年によって違います。小学校低学年(5~7歳)は2~3週間、高学年(8~10歳)は4週間。それ以降も、学年があがるごとに、テーマを長く、深く、集中的に学習するようになっていくのです。

- 3 P15・16を読み、ニュージーランドの学校と日本の学校を比べ、それぞれの「特徴」と「よい点」を、左図のようにまとめてみましょう。

NZの学校の特徴	日本の学校の特徴
NZの学校のよい点	日本の学校のよい点

- 4 あなたにとって「理想の学校」とはどんな学校ですか?  
 何を学びたいですか? どんな方法がいいですか?  
 どんなシステムや環境だといいでしょう?  
 みんなの「理想の学校」をデザインしてみましょう。



# 日本の食卓から世界が見える！？

## ～ 世界一の食料輸入国日本！ ～



「食」という切り口から、NZと日本のつながり、日本の食の未来について考えてみよう!



- ① ニュージーランドは、豊かな国土とその地形から農業がとても盛んです。酪農、畜産は特に盛んで、600種類以上の酪農生産物があります。そして輸出品目の3割が、乳製品や食肉などの農産品で占められています。(乳製品19.5%、食肉13.8% 2007年データより)

さて! スーパーなどで見かける輸入食品には、どのようなものがあるでしょう。

その中でニュージーランドからのものは、どれくらいあるでしょう。

\*実際にスーパーマーケットに出かけたり、スーパーのちらしからも探してみましょう。

\*NZが輸出している食品は、魚介類、酪農製品、フルーツ、はちみつ、ワイン...

- ② 昨日1日、あなたが食べたものを思い出し、次の二つに分類しながら書き出してみましょう。

紙の左側:「生の食材(または半加工品)を使い、手作りで調理したもの」

紙の右側:「それ以外(インスタント、レトルト、缶詰、瓶詰、冷凍食品、その他の調理済み品)」

- ③ 2で書き出した食品のうち、「輸入された食品」だと思うものに印をつけてみましょう。

\*食品の一部に輸入食材を使っている、というものも含む

- ④ 1、2、3、の結果から、それぞれが気づいたことを話し合ってみましょう。

- ⑤ 農業大国であるニュージーランドの食料自給率は、なんと300%! 一方日本の食料自給率は40%。

日本は、国内で消費する食べ物の6割を外国から輸入している世界最大の食料輸入国です。

P.19の資料を参考にしながら、次の二つについてみんなで考えてみましょう。

なぜ日本は世界最大の食料輸入国になったのか、その理由を考える。

自給率40%の日本の「食」の未来を予測し、「いいこと」と「困ること」に分ける。

- ⑥ 今まで考えてきたことをもとにして、5の で出てきた「日本の食の未来」で「困ること」を解決するために、

大切なことは何か

わたしたちにできることは何か

をできるだけたくさん考えてみましょう。



P.17の解説です。



「食」を通して世界とのつながりを知り、日本をふりかえり、よりよい未来について考える。

## 1 ニュージーランドから日本に輸出される食品

輸出金額の多い順に見ると、魚介類、酪農製品、食肉及び食肉加工品、生鮮野菜、果物、アルコール類を含む飲料製品、鯛、ホキ、鮭、ホキのすり身...となります。

日本に輸入されるアイスクリームの約15%がニュージーランド産です。

ニュージーランドにとって、日本向け最大の稼ぎ手の生鮮食品は、カボチャとキウイフルーツです。

### ニュージーランド以外からの輸入食品

「日本が輸入している食品(重量)トップ10」と「どこから輸入しているかトップ3」

1位 とうもろこし	アメリカ 中国 アルゼンチン
2位 豚肉	アメリカ カナダ デンマーク
3位 牛肉	オーストラリア アメリカ ニュージーランド
4位 生鮮・乾燥果実	アメリカ フィリピン ニュージーランド
5位 アルコール飲料	フランス イギリス イタリア
6位 えび	ベトナム インドネシア インド
7位 かつお・まぐろ類	台湾 大韓民国 オーストラリア
8位 大豆	アメリカ カナダ ブラジル
9位 小麦	アメリカ カナダ オーストラリア
10位 さけ・ます	チリ ノルウェー ロシア

続く10品目は...

鶏肉調製品<中国 タイ 大韓民国>、冷凍野菜<中国 アメリカ タイ>、コーヒー豆(生豆)<ブラジル コロンビア インドネシア>、菜種(採油用)<カナダ オーストラリア アメリカ>、ナチュラルチーズ<オーストラリア ニュージーランド イタリア>、鶏肉<ブラジル アメリカ フィリピン>、生鮮野菜<中国 アメリカ ニュージーランド>、かに<ロシア カナダ アメリカ>、大豆油粕<インド 中国 アメリカ>、えび調製品<タイ 中国 ベトナム>

 財務省「貿易統計」、農林水産物輸出入額(2007年)の上位品目データ

## 5 日本が世界一の食料輸入大国になった理由

例えば、

食生活の変化:米と野菜や魚が中心から、欧米型に(小麦製品、肉類、油脂など)

食品輸入の壁が低くなり、海外の多様な食材が、国産より安価に手に入るようになった

日本の農業の衰退

開発が進み、農地が減った などなど

## 6 正解はありませんが...

例えば、米、野菜、魚中心の生活にする。食べ残さない。地産地消など。





# 日本の自給率 世界の自給率

## ～ 食料の6割を輸入に頼る食料輸入大国日本！～

### どんな食品を輸入しているのでしょうか？

小麦、大豆、とうもろこしなどはもとより、牛肉、豚肉、鶏肉、玉ねぎ、かぼちゃ、キャベツ、オレンジ、レモン、バナナ、サクランボ、エビ、マグロ、カツオ、ハム、チーズ、砂糖、チョコレート、コーヒー、缶詰、冷凍食品、お菓子、焼き鳥、アジフライなど生鮮・冷凍・加工を問わず、様々な食べ物を輸入しています。

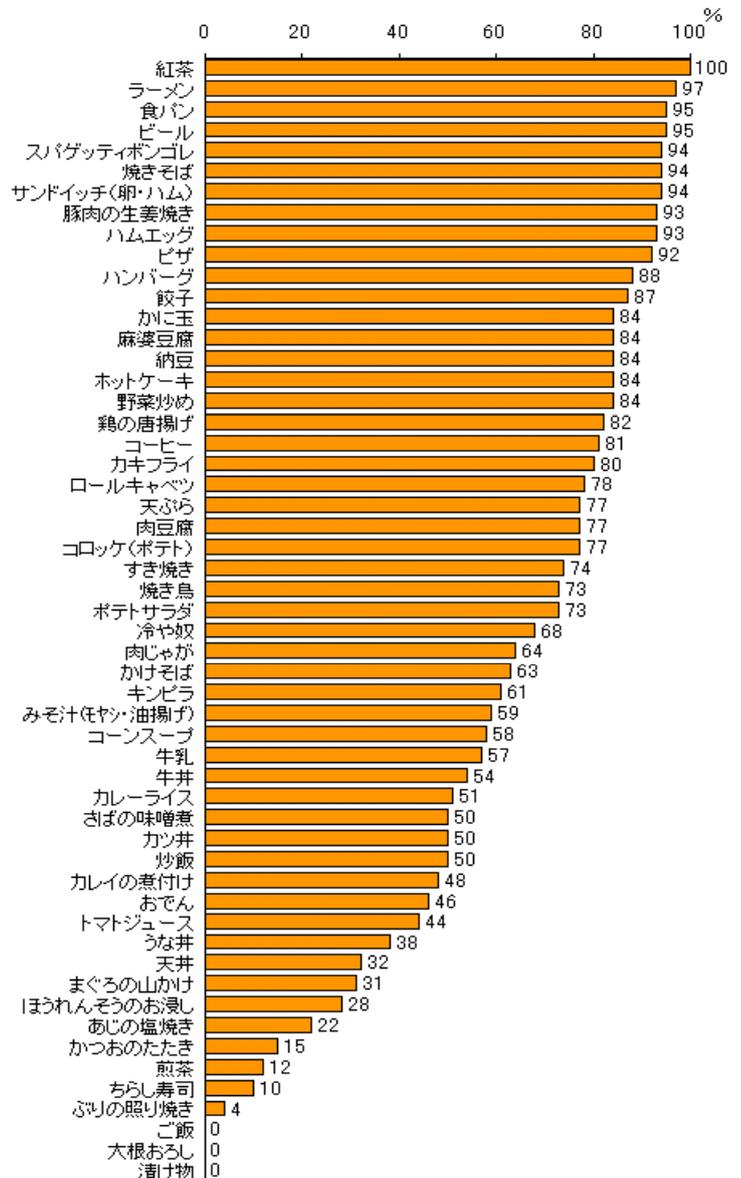
野菜は生鮮ばかりではなく、冷凍、カット、加工された野菜がぞくぞくと日本に入っています。ニンジンのレストランでそのまま使えるように様々な形にカットしたもの、ロールキャベツのような総菜、ナスを炒めてから冷凍したものまで様々。

えっ、これも!? というものも少なくありません。そば粉、わらび、たけのこ、きのこ、ひじき、わかめ、ウニ、イカ、タコ、梅干し、らっきょうなど、日本の伝統食といわれる物までが輸入されています。

### どこから輸入しているのでしょうか？

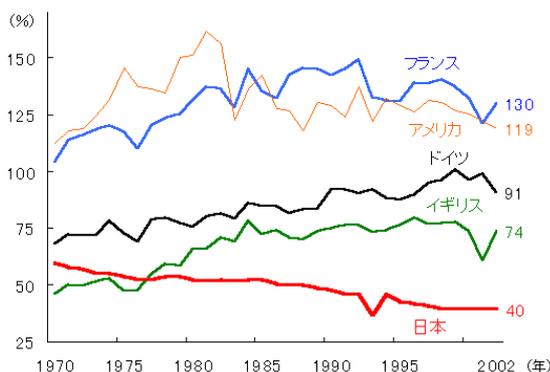
アメリカ、カナダ、ブラジル、チリ、中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、イタリア、フランス、ノルウェー、ロシア、南アフリカ、その他

料理メニュー別の輸入依存度(2002年)



(注)カロリー自給率を100から引いて求めた。畜産物の食材は飼料自給率を考慮しているため例えば牛乳は国産であるが輸入依存度は57%となっている。使っている食材の平均自給率から求めているので現実値そのものではない。  
(資料)農水省「食料自給率早見ソフト(平成14年度版)」

しかし日本は、昔から食料自給率がこのように低かったわけではありません。(農林水産省データより)

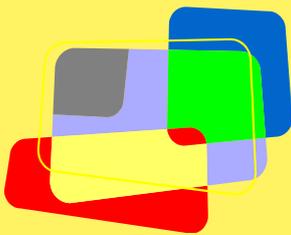


日本の食料自給率は、70年代には60%でした。この40年で30%下がったこととなります。それに比べて欧米先進国は、  
イギリス 46% 74%  
ドイツ 68% 90%  
アメリカ 102% 119%  
フランス 104% 130%  
と、自給率を上げています。



## 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



# 非核国家NZの「ヒロシマ・デー」

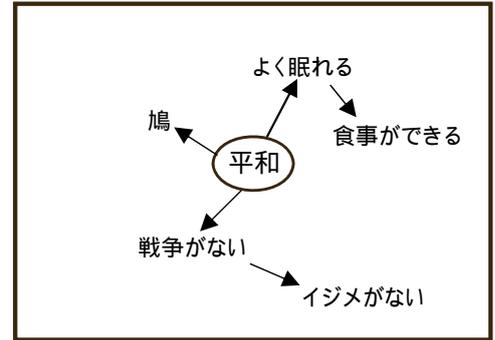
## ～ 平和指数世界2位の国NZ ～



「平和」って何だろう？ 願うだけの平和から一歩前へ！ 平和を創る私たちになろう。



- ① 4～5人のグループになり、「平和」という言葉から思い浮かべるものを、模造紙にできるだけたくさん書き出してみましょう。他の人が出した言葉から、さらにイメージをふくらませて、書き足していきましょう。



- ② ニュージーランドには「ヒロシマ・デー」という日があります。P.22の資料を読んでみましょう。資料を読んで、気づいたことや感想を、グループで共有しましょう。

- ③ 今、日本や世界は平和でしょうか？  
下の図のように、日本について、また世界全体について、「平和だなあ」と思うところと、「平和ではないなあ」と思うところを、グループ毎に模造紙に書き出してみましょう。

	平和だと思うところ	平和ではないと思うところ
日本について	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
世界全体について	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・

- ④ 平和の要素って何でしょう(これがあれば平和だと言えるもの)。各自10個考えてみましょう。正解はありません。あなたにとって、何があれば平和と言えるのかを考えてみましょう。それぞれ自分の考えた「平和の10の要素」を、他の人と共有してみましょう。共通していた要素には、どのようなものがあつたでしょう。

- ⑤ 最後に、誰にとっても平和な社会(世界)はどうすれば実現するのでしょうか？ 平和を創り出すために、あなたのできることをできるだけたくさん考えてみましょう。



P.21の解説です。



## 世界で2番目に平和な国！？ニュージーランド

イギリスの「エコノミスト」という雑誌が2007年に、世界121か国を対象にした「平和度指数」というものを発表しました。

平和度指数とは、犯罪傾向や軍事費の国内総生産(GDP)比など全24項目を比較し、各国で平和が実現されている程度を初めて数値化したものです。

「平和度指数」の中で、ニュージーランドは、「世界で2番目に平和」と評価されました。

国内の犯罪傾向において、暴動と殺人の指数がとても少なく、政治的に安定し、オーストラリアをはじめとする近隣諸国との関係や治安が良好な点が評価されました。

日本は主要8か国(G8)では最高の5位にランクされ、オーストラリアは25位、英国が49位、米国は96位、最下位はイラクでした。

上位10ヶ国は次の通りです。

1位: ノルウェー、2位: ニュージーランド、3位: デンマーク、4位: アイルランド、5位: 日本、6位: フィンランド、7位: スウェーデン、8位: カナダ、9位: ポルトガル、10位: オーストリア

## ニュージーランドの「ヒロシマ・デー」

毎年8月になると、ニュージーランドでは「Hiroshima day(ヒロシマ・デー)」という言葉をよく見聞きするようになります。広島に原爆が投下された日、つまり、世界で最初に原爆が投下された8月6日を「ヒロシマ・デー」と呼び、各地で、原爆で犠牲になった広島の人々を追悼する集会が開かれるのです。

ヒロシマ・デー平和集会の内容は、核兵器反対と平和の大切さについてのスピーチ(反核活動家、軍縮担当大臣、グリーン党国会議員、市役所や平和委員会の代表、マオリの長老代表などによる)、原爆をテーマにした詩の朗読、現地の日本人と広島から招待された小学生たちによる合唱、など様々ですが、毎年ヒロシマにフォーカスし、現地の人々がコーディネートしている平和集会は、世界でもそうはありません。

でも、なぜニュージーランドで「ヒロシマ・デー」なのでしょう？

それは、ニュージーランドが「非核国家」だからなのです。  
ニュージーランドは1982年に反核宣言をして以来、徹底した非核政策を採っています。

この国には核兵器も原子力発電所もなく、原子力船の寄港さえ禁じています。(1984年には核を搭載したアメリカ艦隊の寄港を拒否しました。)





## アオテアロア(白く長い雲のたなびく国)の最初の移住者「マオリ」と 一国二文化の国ニュージーランド

### アオテアロア最初の移住者マオリ と 一国二文化の始まり「ワイタンギ条約」

最初にアオテアロア(ニュージーランド—「白く長い雲のたなびく国」という意味)にやってきたマオリは、1000年以上前、祖先がいたハワイキからワカ・ホウルア(航海カヌー)に乗ってやってきました。マオリは国中に定住し、農業や狩りをして生活していました。1800年には、十万人を超えるマオリがニュージーランドに暮らしていました。

アオテアロアに初めて移住したのはマオリですが、その後、ヨーロッパ人の移住が激増し、国内では、互いの権利を巡り争いが絶えませんでした。

しかし、1840年、マオリ族とニュージーランドの主権を主張するイギリス人との間で、ワイタンギ条約が結ばれ、マオリ族の権利や文化などを保護伝承していくことが取り決められました。それ以来、学校教育の場で、マオリ族についての学習は、忘れてはならない大切なものになっています。

### マオリの人々の暮らし ~ 釣り・狩猟・自家栽培 ~

マオリの人々は、ハラケケ(亜麻)から釣り用のネットを編み、骨と石を削ってフックを造って釣りをしていました。クジラをカイティアキ(守り神)として崇め、鯨肉を食用に、そして硬質な骨を武器に利用していました。「最初に釣った魚を戻す」というマオリの伝統は、「受けた恩恵に対し、海の神タンガロアに感謝を捧げる」という意味を持ち、今も生きています。

巧妙なわなを仕掛けることにも長け、世界最大といわれ絶滅した巨鳥モアを含むニュージーランド原生の鳥類を狩り、食料としていました。しかし、現在は絶滅してしまったファイアという尾の先が白い黒鳥だけは、タブ(神聖)と考えられ、決して食べることはなく、その羽は尊ばれ、ランガティラ(首長)の頭部の飾りになりました。

また、マオリの人々は、ニュージーランド原生の野菜やポリネシアから持ち込んだクマラ(サツマイモ)を栽培して、様々なベリー類、プハ(ホウレンソウのような葉菜)などを食べていました。

マオリの文化として、今日でも使われている伝統的な調理方法があります。ハンギまたはウムという、地中に掘った大きな穴をオープンに仕立て、材料を蒸し焼きにする調理法です。穴の中に火をつけた木の枝切れ、特別な石、緑のままの亜麻(植物)を重ね、その上に肉類や野菜を置き、亜麻のをせ、最後にマットで覆い、水を入れ、蒸し焼きにするのです。驚くほどにやわらかく仕上がりに、木と亜麻の香りが最高です。

### 学校で習うマオリ族

「ハカ」「ポイ」(マオリの代表的民族舞踊の名前で、男性の踊りが「ハカ」、女性の踊りが「ポイ」)に代表される民族舞踊や音楽、マオリ語、伝統技術(染め物・彫刻など)は、必ず学習する題材です。

小学校に入学した子どもたち(五歳)は、学校生活の中で、日常的にマオリ語の単語を見、聞き、話すようになります。色や数、体の部位などの基本単語は、教室を飾る学習用掲示物や歌、絵本の中にあふれています。

学年集会で歌う国歌は、どこの学校でも、一番を英語で、二番をマオリ語で歌います。

義務教育終了後の学年では、選択教科の一つとして、マオリ語やマオリ族の民族舞踊・音楽などが入ってきます。

### マルチカルチャリズム ~ お互いの文化を認め合う 多国籍国家ニュージーランド ~

マオリ族を含むニュージーランド人だけではなく、アジア・ヨーロッパの人々が集まる多国籍国家ニュージーランド。子どもたちはこのような教育を受け、お互いの文化を認め、そして自国の文化に誇りを持つ精神を、自然と身につけていきます。

# フォトギャラリー



羊！羊！羊！これぞNZ！



マヌカの花と  
日本でも人気  
マヌカ・ハニー



プロの腕前！  
あっという間に  
羊まる裸！



朝食には欠かせません  
ベジマイト！  
パンにつけて食べます

さすが動物たちの楽園  
様々な動物標識があります。  
「 に注意！」  
「 横断中  
スピード落とせ！」



羊！羊！ワイタンギ条約( P.23)調印の場面



マオリの象徴  
伝統の踊り「ハカ」



ワイタンギのマオリ彫刻  
(ポウポウ)

# 「ニュージーランドってこんな国」ふりかえりシート

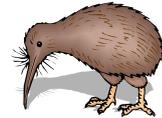
位置は？地形は？気候は？

こんな所がある

人々はこんな生活してる



## ニュージーランドってこんな国



NZの素敵なおとこ

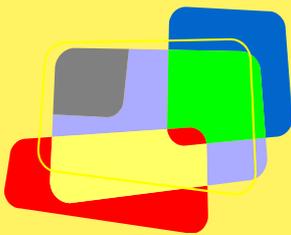
NZから学んだこと





## 第4章

そして未来へ

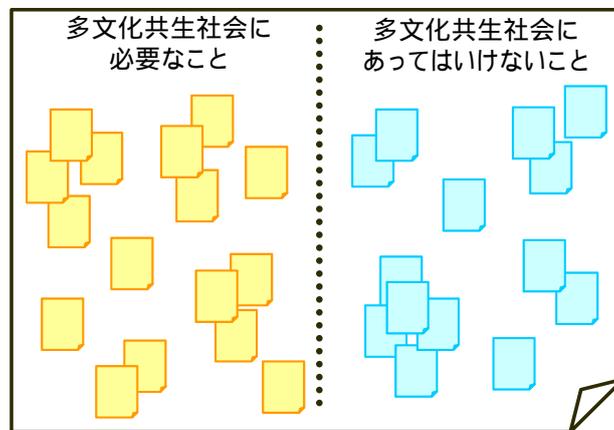


# 『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは  
どうのことなのでしょう？



- ① みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？  
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？  
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。
- ② 4～6人のグループに分かれましょう。  
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。
- ④ では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？  
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。
- ⑤ 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。
- ⑥ 全員で発表し、感想を話し合きましょう。

多文化共生社会とは

な社会

そんな社会を実現する  
ための7か条

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

# 号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？  
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。  
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。  
模造紙を横にして半分に区切り、  
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている  
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に  
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいは、ニュージーランド  
のニュース)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？  
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

## 多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

### コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

### 生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

### 多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

## 地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ、これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

### 地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

### 貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など、地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

### 平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

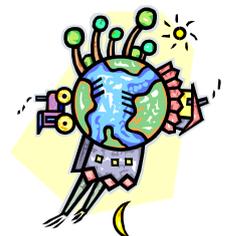
### 人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

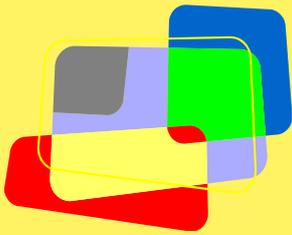
## 地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のものと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



# 参 考 资 料



# 目で見るニュージーランド



1840年に英国領となった直後から南十字星の旗が用いられ、その後、現在の南十字星の部分に白で縁取られた赤字で「NZ」と描かれた旗や、白い4つの星に変わりました。さらに、1902年に国旗法が施行され星の中にそれぞれ赤い星が描かれた現在の旗となり、1907年、自治領となったときから正式に制定されました。

## ●人口●

 423万人(2007年6月末)



 128百万人



## ●言語●

英語  
マオリ語

## ●民族●

アングロサクソン系  
および  
先住民マオリ系

## ●気候帯●

西岸海洋性気候

## ●平均気温●

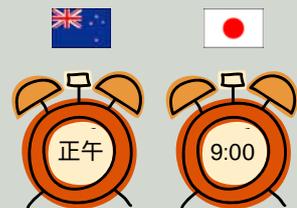


## ●年間降水量●



## ●日本との時差●

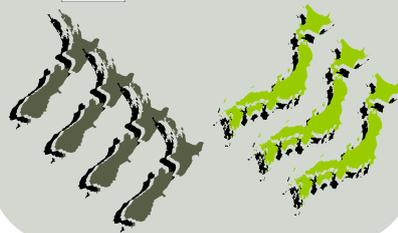
3時間



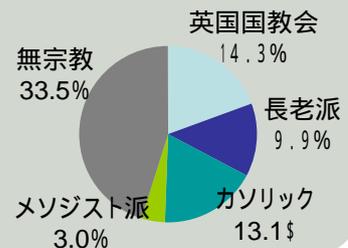
## ●面積●

 270,534km<sup>2</sup>  
(日本の約4分の3)

 377,887km<sup>2</sup>



## ●宗教●



## ●通貨●

ニュージーランド・ドル



国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

畜産を中心とする農業  
最近では、バイオテクノロジーや  
映画製作等にも力を入れている



●日本との  
貿易主要品目●



アルミニウム、林産品、肉類  
酪農品、果物、野菜



自動車等輸送機器、機械、電気電子機器  
光学機器、鉱産物、鉄鋼

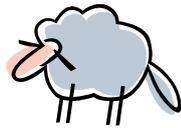
●一人あたりのGNI●



27,250米ドル(2006年世銀)



38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●

12,250人(2007年10月1日)

●在日NZ人数●

3,762人(2006年12月末)



●出生時の平均余命●



80年



82年



●5歳未満児の死亡者数(出  
生1000人あたり)



6人(2006年)



4人(2006年)



●都市人口の比率●



86%(2006年)



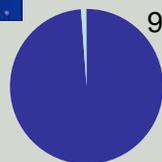
66%(2006年)



●初等教育  
純就学/出席率  
(2000~2006年)



99%



●人口増加率●  
(1990~2006年)



1.2%

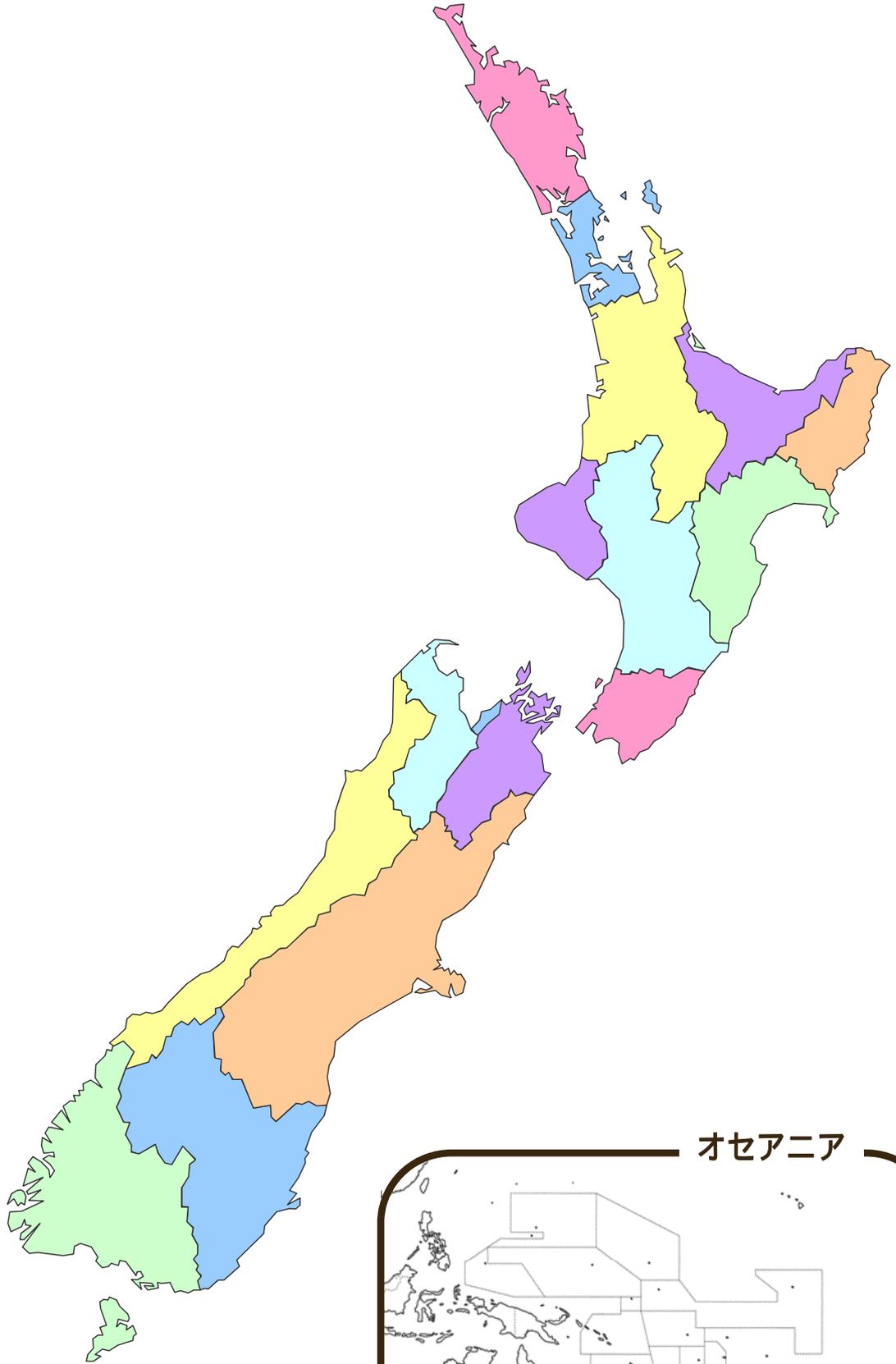


0.2%

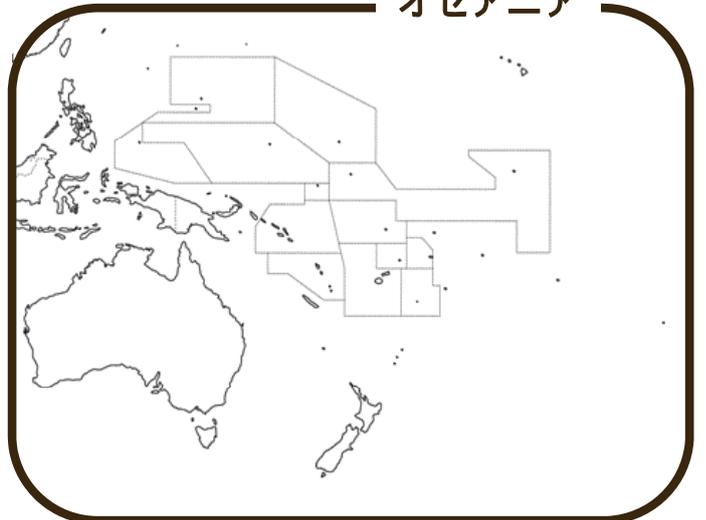


主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日NZ人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率：人口増加率：世界子供白書2008(ユニセフ)

# ニュージーランド地図



オセアニア







## 参考文献・データ等の出典

外務省「各国地域情勢」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

総務省統計局「日本の統計」

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2008」

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

ニュージーランド政府観光局

<http://www.newzealand.com/Japan/>

ニュージーランド大使館

<http://www.nzembassy.com/>

農林水産省「自給率の部屋」

<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/index.html>

財務省「貿易統計」

<http://www.customs.go.jp/toukei/info/index.htm>

ニュージーランドを知るための63章 / 青柳 まちこ(明石書店)

ニュージーランド エコ紀行 / 青柳 光郎(七つ森書館)



### 2008年度教材作成チーム

一宮市

田原市

長久手町

幸田町

扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

## わたしたちの地球と未来

 ニューージーランド 

2009年3月

**発行** 愛知県

**企画  
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会  
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号  
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

**印刷** サンメッセ株式会社

